

学習支援者の集い

学習支援委員長：岡本 紘一（生環18期）

7月26日午後1時から、令和元年度第一回の学習支援者の集いを、カレッジの学習室で開催しました。

今年度の支援要請状況、30年度の地域交流グループによる学校支援状況、戦争と平和学習語り部授業の状況の紹介の後、広陵小学校と、だいち小学校での学習支援の活動事例紹介、支援要請への対応状況などの紹介をし、カレッジの藤原リーダーと学習支援者など35名が参加しました。



1.今年度の小学校よりの支援要請状況

要請に対し、支援できていない小学校がある、など継続のために新しい人の参加を進める必要があります。

2.平成30年度の地域交流グループによる学校支援紹介（藤原リーダーより）

学校支援の件数が最も多い。また増加している。学校支援に関するアンケートの結果についても紹介されました。

3.戦争と平和学習語り部授業について

戦争語り部チームの加藤勇治さん（美工10期）より、30年度の活動状況、語り部授業の内容などが紹介され語り部授業の教材としての6つの動画の撮影が完了し8分版の動画が披露されました。

4.広陵小学校での特別支援の活動事例

北区の藤澤淑子さん（国際10期）より紹介。特別支援を始めたきっかけ、なかよし学級について、どんな支援をしているのか、気を付けていることなどを、具体的に判りやすく紹介がありました。

5.だいち小学校での放課後支援の活動事例

須磨区の青木千恵子さん（国際14期）より紹介。特別支援を始めたきっかけ、「だいちてらこや」の放課後支援について具体的にどのような支援をしているのか、開校式、閉校式、お楽しみ会などについて、判りやすく紹介がありました。

6.小学校からの要請に対する対応策の実施状況

- ・グループわの新規入会者で学習支援希望者個々に対応して要請がある小学校の紹介がありました。
- ・グループわのホームページに学習支援要請校を載せた学習支援者の募集チラシを掲載。
- ・学習支援の体験事例を紹介。
- ・特別支援について竹田契一先生の講演動画で学んだ。
- ・小学校毎のグループで現役生、OBと一緒に学習支援活動を実施

新設グループの活動紹介

神戸の伝統野菜保存会

代表：渡部 啓史（園芸23期）

1.趣旨

神戸の伝統野菜の「発掘・復活・普及」を通して地域の活性化を図る！活性化：高齢者・障害者に雇用の場の提供／耕作放棄地の活用

2.グループでの活動計画

「栽培活動（=1）／加工品製造活動（=2）／販売活動（=3）」のトータル活動の展開

3.経緯

①KSC園芸コース23期2年生の時の研究テーマとして取り上げる②調査の結果「阪神のオランダトマト」

「鳴尾いちご」を発掘③「阪神のオランダトマト」の苗30株、「鳴尾いちごの品種改良品『宝交早生』」の苗20株入手し、研究畝で栽培開始④「阪神のオランダトマト」の栽培及び自家採種に成功、「宝交早生（鳴尾いちご）」栽培及び株の増殖に成功⑤収穫品（トマト）を使ったスイーツの創作に取組、神戸市主催「1×2×3」（ニサンガロク）プロジェクトに出展⑥神戸の伝統野菜保存会設立（会員13名）⑦県立淡路景観園芸学校でのふるさと野菜継承プロジェクトの準備に参画⑧スイーツの創作活動継続中



4.現状

①原種保存を目的に、県立淡路景観園芸学校で、原種保存用栽培と試験的栽培実施中（「阪神のオランダトマト」=60株／「宝交早生（鳴尾いちご）」=200株）②2品種のジャム製造に成功し、ジャムを使った創作スイーツ試作中③国が提唱する「農福連携」の実践を検討中

阪神のオランダトマト

5.今後の展開

①「阪神のオランダトマト」「宝交早生（鳴尾いちご）」に加え、「尼薩」（尼崎の伝統野菜）のジャムを作り、3品セットで伝統野菜ジャムとして販売する。②販売先として「フェリシモ」（神戸の通販大手）／「KUADRO」／西川ベーカリーと折衝中③「KSC学園祭」「神戸学院大学学園祭」等イベントでの販売④「農福連携」先と折衝中



【連絡先】

代表 渡部啓史（園芸23期）

e-mail:watanabe-oak-tree@maia.eonet.ne.jp